

平成28年4月19日

**「第三世代が考えるヒロシマ『 』継ぐ展 2016」に向けて
本学学生が4月22、23日に被爆者のインタビュー取材をします**

「第三世代が考えるヒロシマ『 』継ぐ展 2016」が、横浜市西区のみなとみらいギャラリー（8月3～8日）と、広島市中区の平和記念公園（8月6日）で開かれます。展示に向けて本学の学生ボランティアが4月22、23日に広島平和記念資料館などで被爆者や被爆体験伝承者へのインタビュー取材を行います。

同展は、東京在住の若手クリエイターたちが、若い世代や親子連れに向けた平和学習の場所を提供し、戦争体験者と非体験者をつなげることを目的に開くイベントです。本学や首都圏の大学の学生たちも企画・制作に参加します。東京・中野で開催した昨年が続いて2回目となります。

本学は文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」（COC）に採択された「平和共存社会を育むひろしまイニシアティブ拠点」の一環として協力しています。必修授業の平和科目をベースに、平和記念資料館での能動的な作業を通じ、卒業後も国内外で被爆の実相を伝承してもらうことを狙いとしています。

「継ぐ展2016」メイン会場のみなとみらいギャラリーでは、本学の原爆瓦発送之会が収集した瓦や石を展示します。また、本学などのボランティア学生が広島での被爆者や平和活動者に行ったインタビュー取材の内容を文字に起こし、webサイト、冊子にまとめる予定です。

このほか市民も加わる朗読劇や1週間かけて制作するモニュメント、子供たちのスタンプラリーなど来場者が「参加」しながら体験を継承できる仕組みを用意します。また「やまだ屋」のご協賛による来場者へのもみじ饅頭プレゼントもあります。

被爆者・被爆体験伝承者へのインタビューは4月22日（金）13:00～15:00に平和記念資料館、同23日（土）は14:30～17:30に平和記念公園で行います。このほか、8月6日平和記念公園内「継ぐ展ブース」の運営スタッフや、8月3日～8日のみなとみらいギャラリー「継ぐ展」の運営スタッフとして参加する学生も募集しています。

【継ぐ展 2016 実施概要】**●平和学習資料展示**

- ・広島平和記念資料館寄贈のパネル、原爆瓦、絵本など平和学習資料(日英)を展示
- ・広島・神奈川県内の被爆者・伝承者へのインタビュー展示
- ・神奈川県内の各平和資料館の紹介
- ・絵本作家西村繁男氏の「絵で読む広島原爆（福音書店）」原画展

●自由研究ツール配布

夏休み期間中の子供たちに向け、会場に来て答えを見つける自由研究ツールをネット上で配布。広島平和記念公園内の慰霊碑を学べるスタンプラリーを実施。

●仮想空間へのとうろう流し

独自開発のアプリを使い、平和へのメッセージを込めたとうろうを ipad を使って仮想空間の川に流す。8月6日の広島とうろう流し会場へメッセージを届ける。

●参加型のイベント / ワークショップ

・被爆体験の継承を演劇を通して伝えていく市民参加型朗読劇ワークショップ「ヒロシマの孫たち」

- ・絵本作家 西村繁男 ギャラリートーク
- ・被爆者・伝承者と対話を行うコーナーを設置

【平和共存社会を育むひろしまイニシアティブ拠点】

平成 25 年度「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」に採択され、広島地域の共通課題である「ひろしま平和発信」、「中山間地域・島しょ部（条件不利地域等）対策」、「障がい者支援」の3つの重点課題の解決に地域と連携して取り組んでいます。

【お問い合わせ先】

文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」

ひろしま平和発信

教育研究推進員 地域志向コーディネーター （平和記念資料館学芸課）

久保田 良枝

TEL 080-3875-9826

ヒロシマ「」継ぐ展実行委員会

代表 久保田 涼子

Mail: hiroschimatsuguten@gmail.com

TEL 080-1916-8638

発信枚数：A4版 2枚（本票含む）